



KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international



人類に奉仕する  
ロータリー

2016~  
2017年度  
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I.会長 ジョン・F.ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I.2720地区 ガバナー 前田真実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年2月6日】

第1246回

2016-2017年度 第26回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「友と語ろう」

(熊本グリーンRCクラブの歌)

来訪者紹介 (河島一夫 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (河島一夫 会長)

今日のお昼は、キャッスルホールで趙健二さんのお別れの会でした。趙さんは、私たちのクラブで9年目に当たります1997~98年度の時に会長を務められていらっしゃいます。その時の年間テーマは「雰囲気づくりー皆で楽しみ、語り合う雰囲気づくり」とありました。中華園は、戦後から上通の4丁目にありました。今のベイブルックの場所です。裏側の立体駐車場まで中華園でした。昼食を二階の楠の木に来る鳩を見ながら食べたものです。また、中華園は、上通青年会の例会の場所でもありました。三階の和室に集まって会議と言いながら、飲んで食べて騒いでと、一番懇親を深める場所でした。バブルの全盛期の平成元年頃に土地を売られて、上通から撤退されました。健次さんは、4人兄弟で、長男さんは、五歳上で善億さんと言う名前で、とても破天荒な方でした。三男さんは誠也さんと言う方で、上通の店がなくなって

から武蔵ヶ丘の通りに店を出されました。後に東バイパスに移られましたが、体調がすぐれずに店を止められました。もう一人の兄弟はお姉さんがおられたようです。趙健次さんは、岩田屋伊勢丹がオープンした時にテナントで店を出されて、45年間になりますか県民百貨店と名を変えてデパートが閉店するのを機にお客さんから惜しまれながら店を閉じられました。健次さんの奥様が大変朗らかで前向きで健次さんを助けてこられたことは、端から見ての通りです。私どものクラブを店を閉められる1年前の今から3年前に退会されました。中華園でロータリーの会議をして食事したことは、忘れられない思い出となりました。今からが老後の生活をという時に亡くなられ残念でなりません。ご冥福をお祈りするばかりです。

幹事報告 (葉高源 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「抜萃のつづり その七十六」の寄贈のお知らせ

本日、例会場受付にて配布致しました「抜萃のつづり」はクマヒラ金庫の創業者より親子3代にわたり、全国のロータリアンのもとより、117ヶ国の日本大使館や各種団体、企業に毎年45万部ほどを無料配布されています。ここ1年間の新聞、雑誌、書籍などから、心に響くエッセイ、コ

### 卓話予定

- 2/13 松本繁熊本第3グループガバナー補佐卓話
- 2/20 河野景治会員卓話
- 2/27 「熊本グリーンRC創立28周年記念例会」
- 3/6 熊本グリーンRAC活動報告~アクトとの合同例会

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>





## RI 2720 地区

### 擁護施設自転車購入支援（熊本東南 RC）

当クラブ（RI 第 2720 地区 熊本東南ロータリークラブ）では、2014 年から児童擁護・母子生活支援施設に、卒業予定の中学生を対象に、通学用の自転車購入の支援を実施しています。今年（2017 年）は県下の 13 施設の 61 人に 1 人 1 万 5 千円を送りました。クラブ会員全員で手分けして施設を訪問し、直接支援金をお渡ししております。継続事業として今後も実施する予定としております。



### 2017-2018 年度ロータリー財団補助金セミナー報告書

2016～2017 年度 ロータリー財団部門長 瀧 満

開催日：平成 29 年 1 月 29 日（日）13：00～15：30

開催場所：大分市 ホルトホール大分 3F 大会議室

参加人数：大分 31 クラブ 97 名、熊本 35 クラブ 97 名、計 194 名

欠席クラブ：中津平成、豊後大野、菊池、肥後小国、熊本水前寺、多良木、西天草、天草中央以上 8 クラブ

会議開催までの部門委員会開催回数：3 回（8/20・10/22・1/14）

未来の夢計画実施後 4 回目を迎える今回の補助金セミナーですが、感想として、補助金のシステムが、地区内のメンバーにかなり浸透して来たという感触を得ました。前田年度の地区補助金の申請状況は 35 クラブ（大分 19 クラブ、熊本 16 クラブ）で申請金額は 6,556,764 円でした。現時点で約 8 割の事業が完了しております。今回は外部講師に頼らず、委員会メンバーで地区補助金並びにグローバル補助金の仕組みについて時間をかけて会長エレクト、会長ノミニーに研修する、という趣旨で取り組みました。部門の 4 委員長には補助金の仕組みや手続き方法について自前の資料を準備して頂き、時間をかけて参加者にレクチャーを行って頂きました。参加者は熱心に聴講しており、補助金に関する知識を十分習得して頂いたと思います。

地区補助金はこの 3 年間で地区内約半数のクラブで有益な事業が展開されるようになりましたので、前田年度はグローバル補助金を使った事業の推進に力を入れております。今回のセミ

ナーでは難解なグローバル補助金の仕組みを担当の林委員長が丁寧に説明して頂き、その崇高な理念をメンバーは理解していただいたものと自負しております。昨年12月に地区としては新制度下で初めての留学生をアメリカのジョン・ホプキンス大学に送り出し、現在も永田年度での実施に向けて2名の候補者が名乗り出ております。多くのクラブで今後グローバル補助金を使った事業の提案がなされることを期待しております。今回のセミナーの目的は財団補助金の意義、歴史、寄付の仕組みと使われ方を理解していただくことでしたが、十分にその目的は達成できたのではないかと考えております。

## ロータリー財団 100周年を祝おう

ロータリー財団は2016-17年度、100周年を迎えました。私たちの財団は、きれいな水の提供、疾病との闘い、平和の推進、基本的教育の提供、世界的ポリオ撲滅など、多くのプロジェクトを通じて人道奉仕の最前線に立ってきました。

2016-17年度に100歳の誕生日を迎えるロータリー財団。1世紀にわたり、世界中のロータリー会員による奉仕活動を支え、奨学金を通じて若者を支援し、ポリオ撲滅を実現に近づけてきました。

きれいな水と衛生設備の提供、疾病の予防と治療、平和と紛争解決、基本的教育の推進、経済と地域社会の発展は、いずれもロータリーが力を注いでいる分野です。これらの分野とポリオ撲滅において、ロータリー財団は重要な役割を果たしてきました。

記念イベントを地元で実施したり、メディアで紹介したりして、財団の活動成果を多くの人に伝えましょう。

### 祝賀のアイデア

100年に及ぶ財団の豊かな歴史をそれぞれの地元で祝いましょう。

- 地元市民を招いて特別な「ロータリーデー」を開く。このイベントは、コンサートやお祭りなど、さまざまな形で企画できます。
- 財団補助金プロジェクト、ロータリー平和センター、ポリオプラスを支援するための募金活動を地元で実施する。
- グローバル補助金や地区補助金のプロジェクトを実施または参加する。
- 財団からの支援で実現したクラブや地区のプロジェクトを紹介する。
- ロータリー財団のみを取り上げた例会を開く。
- クラブで財団への寄付の新記録を目指す。

「ロータリーデー」のこのほかのアイデアは、財団100周年推進用キットをご参照ください。